

新型コロナウイルス対応ガイドライン

はじめに

新型コロナウイルス感染症の予防及び対策について、本連盟が、加盟チームに練習や対外試合・公式試合を行うにあたり遵守すべき事項を記載しており、厚生労働省やJリーグ及びNPB共同で開催された専門家会議での提言、Jリーグ新型コロナウイルス感染症ガイドライン、一般財団法人全日本大学サッカー連盟（JUFA）新型コロナウイルス対応ガイドラインをもとに、本連盟の地域の実情に合わせながら作成したものです。

全部で6つのカテゴリー（Ⅰ.関係者の感染症予防の徹底、Ⅱ.毎日の検温・体調報告・行動記録の徹底、Ⅲ.重要事象報告、Ⅳ.トレーニング時の留意点、Ⅴ.試合時の留意点、Ⅵ.チームの移動・宿泊）について記載しています。また、加盟チームは所属する大学のガイドラインを必ず遵守してください。

本ガイドラインは社会状況や医学的知見の変化等に応じて、適宜更新いたします。常に最新版をご参照ください。

チーム練習を実施するにあたり、メンバーと一緒にトレーニングを行うため、感染リスクをゼロにすることは残念ながらできません。また、クラスターの発生も防ぐ必要があります。そのリスクを最大限減らす努力をチームはしなくてはなりません。リスクをしっかりと把握し、その対処方やチーム内のルールを整えていただき、十分な感染症対策をとった上で、活動していただければと思います。

対外試合や大会開催にあたっては、まずは選手、チーム関係者、運営関係者等の大会に関わる全ての方々の健康と安全が第一であり、大会主催者及び主管者、運営担当チーム（ホームチーム）は、それらを守るために出来得る限りの準備をする必要があります。

現状では、十分な感染対策をしても感染を100%に防ぐことはできません。しかしながら感染のリスクを減らすために必要なことが記載されています。

【JUFA統一】項目につきましては、全日本大学サッカー連盟共通の統一事項ですので、必ず実施してください。

また、本連盟は、関係者全員のCOCOAアプリ利用、スマートフォンにインストールの上、アプリの利用への協力を推奨します。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

尚、コロナ対策費用として、消毒液、ペーパータオル等の準備は各チームが準備しなければならない。そのため、1試合当たり35,000円（5,000円×7試合分）を本連盟より支給します。

I. 関係者の感染症予防の徹底

選手、チーム関係者、運営関係者ならびにその家族の皆さん一人一人がウイルスの特徴を理解し、自ら健康を守る行動をとってください。

1. 新型コロナウイルス感染症の感染経路について

新型コロナウイルスの感染は以下の2つの経路で生じることが確認されています。

(1) 飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）

通常の風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスが排出され、それを吸入することにより感染が生じます。特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要です。

(2) 接触感染（手で触れることによる感染）

咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスが、手指などを介して粘膜（口、鼻、眼など）から侵入することにより感染が成立します。咳やくしゃみ、おしゃべりで排出されたウイルスは、条件次第では、環境中で数日にわたって生き続けます。

2. 一般的な予防方法

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける
- (2) 手洗いと咳エチケット
- (3) 口・鼻・目に不用意に触れない
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事

3. 感染を注意すべき関係者

選手本人だけでなく、選手と頻繁に接する方々も同様の対応が必要です。

- (1) 選手、チームスタッフ、及びその家族・同居人
- (2) 選手、チームスタッフと接点を持つ可能性のある友人、知人
- (3) 選手、チームスタッフと接点を持つ可能性のある大学職員
- (4) チームバスの運転手
- (5) メディア・スカウト

4. 参考資料ともっと知りたい方へのお勧め

- 厚生労働省HP
- 厚生労働省：「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」
- 首相官邸：「3つの密を避けるにはどうしたらよいか」
- 首相官邸、厚生労働省：「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」
- 厚生労働省動画：「正しい手洗い方法」
- 厚生労働省動画：「マスクの正しい着け方」

II. 毎日の検温・体調報告・行動記録の徹底

上記 I を達成するために、選手やスタッフの毎日の健康状態を、チームとしてモニタリングすることが不可欠になります。また、万が一に備えて、毎日の行動記録を取ることを推奨します。

1. 体温測定、健康チェック

(1) 毎日の検温：チームの選手、スタッフは必ず実施【JUFA 統一】

- 毎日同じ条件、同じ方法で、測定することが望ましい
- チーム関係者との接触機会の多い方（家族、寮関係者など）も測定することが望ましいです。

(2) 体調の自己申告：(例) 咳 | 頭痛 | 咽頭痛 | 嗅覚異常 | 味覚異常 | 倦怠感

(3) データ管理、モニタリング：添付の間診票（資料 1）をご参照ください

- 本連盟所属チームは、添付の間診票を参照に、スタッフ・選手のモニタリングをリーグ戦開幕 2 週間前から終了まで実施してください。各チームで管理し、連盟から要求があった場合は速やかに提出してください。
- 各チームにおいて、毎日のモニタリングを実施し、活動への参加可否を決定してください
- オンライン上でのコンディショニングシステム等の活用も検討してください

2. 行動記録

(1) 選手、スタッフに感染確定例、陽性判定例、濃厚接触者が出た時に備えて、毎日の行動記録のメモ書きを残してください【JUFA 統一】

- 感染者、または濃厚接触者が出たときに、どの範囲で自主隔離するかすばやく、正確に判断するために毎日行動記録が必要となります。

(2) 行動記録（資料 2-1、2-2）

- 食事に出向いた場所・同行者などの記録
- 買い物、会食、戸外でのトレーニング等、感染リスクがある行動を誰と実施したか、といった観点でメモを残してください。

3. 発熱など風邪症状の時の対応

(1) 37.5 度を超える発熱をした者は、まずは自主的に隔離してください【JUFA 統一】

- 平熱の高さに関わらず、感染症法における発熱となる 37.5 度以上を基準にしています

(2) 原則として、発熱者は新型コロナウイルス感染者または保菌者である可能性があることから、熱が引いて体調が戻った日から 2 週間、チーム全体の活動への参加を自粛してください【JUFA 統一】

- 病院にて別の症状（風邪・熱中症などによる）と診断された場合においても適用する。

- PCR 検査にて陰性判定と診断された場合も、同様とする

（検査の正確性が現段階では低いことから）

- 復帰時期については、チームドクター（いる場合）と相談の上、検討してください
本人の回復だけではなく、感染源となってしまうリスクも考慮して、ご検討ください

(3) 発熱があった、または疑いがある場合の相談

- 相談・受診・検査の流れは、厚生労働省の Q & A がわかりやすいです

・ 厚生労働省「症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について」

- 帰国者・接触者相談センターに相談してください

・ 厚生労働省の目安

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

- 発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が 4 日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です）

・ 各都道府県が開設している帰国者・接触者相談センター

(4) 疑い症例または濃厚接触疑いのあるときの、チームの活動

本人以外の選手の活動（検査結果待ちの間）

安全性の高さは a、b、c の順

- a) 検査で陰性が出るまで個人トレーニングに切り替え
- b) 発症日または接触疑い日 2 日前から接触のあった選手を、別グループにしてトレーニング
- c) チーム全体練習を続ける
 - ・ 本人陽性の場合、チーム全体が濃厚接触者となる
 - ・ 本人から無症状感染している者がいる場合、さらに感染が広がるリスクあり

(5) 自主的隔離のとき家庭内で気をつけること

- 厚生労働省公式サイトを参考にしてください。

(6) 濃厚接触者

- 厚生労働省公式サイトを参考にしてください。

4. 感染者の時間経過イメージ

(1) 発症（疑い）日

- 最初に症状が観察された日（発熱、咳、だるさ、味や匂いを感じない等）

(2) 発症前に他人を感染させる可能性

- 発症日の 2 日前から、他人を感染させる可能性があると思なします
 - ・ その間に濃厚接触した方は、隔離の対象となります

- 感染してから発症するまでの潜伏期間は 1～14 日。平均で 5 日です

(3) 発症後、症状が持続せず、新型コロナウイルスに感染していないと推定できる場合

- 発症日から 7 日間隔離の後、かつ解熱および症状消失後に 3 日経過後、平常復帰することが推奨されています。加盟チームは、前述した計 10 日間隔離後、追加で 4 日間（つまり、合計で発症日から 2 週間）はチーム練習には参加しないでください。ただし個人トレーニング（他者とは接触のないトレーニング）は認めます

Ⅲ. 重要事象報告（全日本大学サッカー連盟、東北地区大学サッカー連盟へ）

本連盟所属チームは、重要事象が発生した場合には、直ちに所属大学に連絡し、その指示を受けなければならない。同時に全日本大学サッカー連盟と東北地区大学サッカー連盟に報告してください。尚、下記の重要事象報告のフォームは、本連盟より各チームに別途ご案内いたします。

1. 重要事象報告

- (1) 重要事象報告フォームは、全日本大学サッカー連盟が定めたもので、新型コロナウイルス感染症について、連盟へ報告する、または身近にドクターがおらず医師に相談したい場合に、ご利用ください。
- (2) まずはフォームの入力項目を確認してから入力されることをお奨めします
- (3) 原則として該当者のお一人ずつについて、このフォームでご相談ください
- (4) 多人数が同時に該当した場合（数十人の選手、またはスタッフが同時に濃厚接触者となる等）は、別途ご相談ください

2. 次の場合、必ず報告してください

- (1) PCR検査にて陽性と診断された
- (2) 濃厚接触者指定を受けた

3. 対象者は、次の通りです

- (1) チーム関係者：選手、チームスタッフ
- (2) 地域連盟関係者：連盟スタッフ、運営スタッフ（社会人・学生問わず）
- (3) 全日本連盟関係者：評議員、理事、各種委員

4. スポーツ医学委員会へのご相談にも、重要事象報告フォームをご利用ください

- (1) 【報告区分】で、その他を選んでください

5. 頂いたご報告・ご相談の取扱い

- (1) 全日本大学サッカー連盟新型コロナウイルス対策本部（仮称）のみ閲覧します
- (2) 連盟による情報開示や公式発表は行いません
- (3) 加盟チームの参考になるケースは、個人情報を取り除いた上、共有します
 - 感染経路の状況、クラスター発生状況等

IV. トレーニング時の留意点

1. 選手の参加義務

- (1) メンバーと一緒にトレーニングすることにより、感染してしまうリスクをゼロにすることは、残念ながらできません
- (2) 各チームにはトレーニングに伴うリスクとその対処方を、十分に選手に説明し、トレーニング参加への同意を得ることが必要です
 - 一人一人の選手との対話、全体でのビデオミーティングなど
 - 安全のために個人トレーニングを選択する、といったかたちで選手の意志を尊重してください

2. トレーニング全体を通じて注意すること

- (1) 人と人の接触を減らす
 - 同じ時刻に練習場に来る人数を減らす
 - 同時に同じ部屋にいる人数を減らす
 - 選手とスタッフの動線を分ける
- (2) 共通のモノを通じた接触を減らす、またはこまめに消毒する
 - 用具、ドアノブ、エレベーターのボタン
- (3) 全員が感染防止マナーを守る
 - 社会的距離 (2.0m。最低 1.0m)
 - 咳エチケット (マスク着用を含む)
 - 手洗い、手指消毒
 - 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜、に触れない
 - 握手、ハイタッチ、抱擁は禁止。グータッチ、肘タッチ等で代用
 - 唾吐きや大声を避ける

3. 練習場へのアクセス

- (1) 公共交通機関の利用時にはラッシュ時間を避け、マスクを着用し、感染防止マナーを守る
- (2) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする
- (3) 電車・バス等を利用中か否かにかかわらず、移動時は常に他者と距離をとり、会話も控える
- (4) 各自の乗用車等を利用する場合も、マスク着用、乗車人数の制限、換気、大声で話さないなどの感染対策を行ってください
- (5) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する

4. 練習場への入場

- (1) 到着時に体温チェックし、37.5 度を超える者は帰宅させる
 - 家族・同居人の健康状態にも留意
- (2) 練習場や更衣室への入場者をコントロールする

5. 屋内施設 (クラブハウス、部室、更衣室) の使用

- (1) 屋内施設 (クラブハウス、部室、更衣室) は極力使用しない。やむを得ず使用する場合には、密閉・密集・密接な状況をつくらない工夫をする
- (2) 移動導線を工夫して、人と人の接触を減らす工夫をする

6. マスク等の着用

- (1) 選手：練習中以外は常時着用
- (2) 監督・コーチ等：常時着用。練習中もできるだけ着用
- (3) 医療スタッフ (ドクター、トレーナー、マッサー、フィジオ等)

- 感染の危険度が高い場合、マスク、手袋に加え、ガウンまたは代用品による防護等を検討
- (4) その他スタッフ：常時着用

7. 手指消毒の設置

- (1) 練習場の入口に可能な限り、設置する
- (2) 屋内施設を使用する場合、諸室にそれぞれ設置する
- (3) ピッチ上にも手指消毒ポイントを設ける等の工夫が必要

8. 選手の着替え、洗濯（状況に応じて感染リスクに対応する）

- (1) ドイツ等：選手は着替えた状態で練習場に到着し、そのまま帰宅する。洗濯は各自が行う
- (2) イングランド等：選手は着替えた状態で練習場に到着し、翌日の練習着を受け取って帰宅する。
帰宅後、汚れたウエアを袋に入れ、翌日の練習場で洗濯に出す（洗濯係がウエアに直接触れない）
- (3) 雨天時等の練習後の着替え、自家用車内等を許容

9. 練習場のシャワー

- (1) 練習場のシャワーは使用しないことが望ましい
- (2) どうしても利用する場合は、感染防止に留意しながら使用する
 - 一つずつ間隔を空けて使用することを原則とする。人数が多いときは時間をずらして使用することで、人と人の間隔（2.0m。最低1.0m）を確保する
- (3) サウナ、浴槽の使用は禁止する

10. 練習前後のミーティング

- (1) ビデオミーティングで済ませ、対面では実施しない
- (2) 実施する場合は屋外で、短時間で実施。マスクを着用。社会的距離（2.0m。最低1.0m）をとる
- (3) ラリーガ「コーチングスタッフは翌日のTRメニューを前夜に選手に送付し、ピッチ上でのTR内容の説明を省き、密接な距離を避ける」

11. 練習場での選手の治療、マッサージ

- (1) トレーナーの選手対応はマスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとったうえで対応
 - 手袋の手配が難しい場合等、1行為1手洗い（アルコールジェルでの刷り込み含む）をしっかりと行う
- (2) 各トレーナーが一つのグループに対応することが望ましいが、チーム事情を勘案する
- (3) 環境の消毒を行うこと
- (4) チームドクターが新型コロナ感染を疑う徴候のない選手の外傷に関して診察を行う場合には、標準予防策（マスク・手袋の着用）を行う。N95マスクの着用は必要ではなく、サージカルマスクで十分である

12. ジムの使用

- (1) 社会的距離を確保する
- (2) 器具は使用のたびに消毒する
- (3) 身体接触を伴う、または対面での補助は行わない

13. 練習時の飲水、暑熱対策

- (1) 一人一人の専用容器から飲水する
 - 使い終わった容器は破棄する（紙コップやペットボトルを使用した場合）
 - 飲水ボトル共用の場合、たとえ口が直接触れてなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある
- (2) 氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。スポンジで顔

を拭うことは行わない

(3) 選手が口をつけ蓋をしたペットボトル等をクーラーボックスに戻すことは、絶対に避ける

14. 練習場での食事

(1) 練習場での食事は望ましくない。食事を提供したい場合、一人分ずつパッケージにして、選手が持ち帰る

(2) 練習場で食事する場合、社会的距離を確保し、対面は避け、会話せず食事する。食事は一人分ずつセットする

(3) ビュッフェ形式は、個人専用トングを用い大皿に唾液が飛ぶような会話などないように留意する等の場合に関し、許容される

V. 試合時の留意点

1. 試合会場への移動

- (1) 公共交通機関の利用時にはラッシュ時間を避け、マスクを着用し、感染防止マナーを守る
- (2) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする
- (3) 電車・バス等を利用中か否かにかかわらず、移動時は常に他者と距離をとり、会話も控える
- (4) 専用バス利用に際して、以下の点に留意する。
 - 大型バスを利用する。マイクロバスを利用する場合は、複数台に分乗して選手間の距離 1.5m～2.0m 開けるよう工夫する
 - 乗車前に必ず全員の体温測定を行う
 - マスクを着用する
 - 席の間隔をあけて座ること
 - 車内の換気に留意する。1時間に3回の換気が推奨される
 - 必ず、有事の際に判断ができる社会人スタッフが同乗すること
- (5) 本連盟の試合会場への移動は各選手の乗用車を利用する場合もある。そのため、各乗用車を利用する際も、①乗車人数の制限（3人以下）、②マスク着用、③換気（1時間に3回くらい）、④会話も控える、特に経費が掛かるからといって、1台の乗車人数が多くならないようにする。（宿泊を伴う場合も同様）

2. 試合当日の体温測定

- (1) 毎日定時の体温測定は、変わらず実施する。
- (2) 試合会場移動前にチーム全員の体温を測定する。審判員についても同様とする。
- (3) 上記2項の対応において、37.5度以上の発熱を超える者がいた場合、次のように処置する
 - 発熱がある場合はチームが責任を持ち、該当者を試合会場には帯同しない。新型コロナウイルス感染症の疑い症状がある場合は診療・検査等の、疑い症状がない場合は経過観察などの適切な処置をとる
 - 審判員に発熱があった場合は、審判委員会、連盟事務局にて代替え審判等を協議する

3. チーム及び審判員全員に求められること

(1) 無理な来場は、勇気を持ち、見合わせる

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 握手、抱擁などは行わない
 - (3) 社会的距離（2.0m。最低1.0m）を確保する
 - (4) マスクを着用する（アップ中またはプレー中を除く）
 - (5) 手洗い、手指消毒をこまめに行う
 - (6) グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等
 - 唾・痰吐き、うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になる。絶対にやめる

4. 更衣室（チーム及び審判）

- (1) 更衣室内でも社会的距離（2.0m。最低1.0m）
 - 空いている部屋があれば追加の更衣室として利用する（先発と控えて分ける等）
 - 追加の更衣室が難しい場合、時間をずらすなどの工夫をする
- (2) 更衣室の滞在時間を、できるだけ減らす（目安：各自30～40分）
- (3) 更衣室内では、必ずマスクを着用する

(4) タオル、飲水ボトル等を共用しない

- (5) シャワーは、極力使用しないことが望ましい。どうしても使用する場合は、一つずつ間隔を空けて使用することを原則とする。人数が多いときは時間をずらして使用することで、人と人の間隔(2.0m。最低1.0m)を確保する

5. 選手の治療、マッサージ

- (1) トレーナーはマスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとったうえで対応
- (2) 環境(使用する器具等)の消毒を行うこと
- (3) チームドクターが新型コロナ感染を疑う徴候のない選手の外傷に関して診察を行う場合には、標準予防策(マスク・手袋の着用)を行う。N95マスクの着用は必要ではなく、サージカルマスクで十分である

6. 競技用具、備品の消毒

- (1) 試合開始前にボール、コーナーフラッグ、ゴールポストを消毒する
- (2) ハーフタイムにも消毒する
- (3) 試合終了後にも消毒する

7. マッチコーディネーションミーティング

- (1) マスク着用、社会的距離を保ち、試合前のマッチコーディネーションミーティングを実施する。
- (2) メンバー表以外に、参加者全員の体調チェックリストを提出しなければならない(資料3)

8. 試合開始前のウォームアップ

- (1) 選手はマスクを着用しなくてよい。コーチングスタッフは各自の判断のもと着用しなくてよい
- (2) 審判員はマスクをしなくてよい

9. 試合開始前の、審判団による選手チェック及び用具チェック

- (1) 試合開始前に副審が実施。副審はマスクを着用

10. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ

- (1) 入場前の混雑を防ぐため、両チーム及び審判団はそれぞれに入場する
- (2) フェアプレー旗、部旗、エスコートキッズは行わない
- (3) 握手セレモニー、ペナント交換、来賓などによるキックオフセレモニー等は行わない(開会式を除く)
- (4) チームの集合写真撮影は認められる。但し、社会的距離(2.0m。最低1.0m)を保つこと
- (5) コイントスは主審及び両チームのキャプテンによる実施する。但し、社会的距離(2.0m。最低1.0m)を保つこととする
- (6) ピッチ上で肩を組むなどの円陣を組むことは認めない。密接にならない距離をおく。

11. チームベンチ

- (1) 1席空けて座る
- (2) 入り切らない場合は、ベンチ(パイプ椅子)を増やして対応。または、主審及び両チームで事前に合意した場所で待機
- (3) ベンチの選手及びチームスタッフは、マスクを着用する
- (4) 不要な会話・接触は控える
- (5) 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント(厚生労働省2020年5月29日)高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2.0m以上)が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。

12. 試合中の飲水

(1) 飲水ボトルの共用を避ける

- (2) 選手はなるべくピッチから出ないようにし、飲水を行うこと
- (3) リーグ戦全試合において、前半後半1回ずつの飲水タイムを設ける。

13. 試合中のクーリングブレイク

- (1) 従来の規定に沿って、必要に応じて主審及びマッチコミッショナーの判断にて設けられる
- (2) 最大限、社会的距離(2.0m。最低 1.0m)を保つこと
- (3) 身体を冷やすための氷、タオル等は使い回すようなことはせず、使い捨て、または各自選手が用意することを推奨する
- (4) 戦術的指示を行うことは可能であるが、チームスタッフはマスク着用し、社会的距離を保つこと

14. 得点時のセレブレーション

(1) 選手が密集して、喜ぶことは自粛する

- (2) 握手、ハイタッチ、抱擁は行わない *グータッチ、肘タッチ、足タッチは容認される

15. ハーフタイム

- (1) 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ導線が混雑しないよう、予め確認する
- (2) グラウンドの補修は、通常と同様に実施される

16. 試合終了時のセレモニー

- (1) 両チームと審判団がピッチ中央に集まることは行わない
- (2) 両チームベンチへの挨拶は行わない
- (3) 選手、チームスタッフ、審判員は、各自で更衣室に戻る

17. 試合での応援・観客等

- (1) 部員・保護者等の観戦は認める。しかし、無理な来場は、勇気を持ち、見合わせる。体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は認めない。
- (2) 応援スタイルは、3密を避け、社会的距離、マスク着用とし、拍手での応援は認めるが、それ以外の一切の応援行動、大きな声を出すなどのいかなる行為も認めない。

VI. チームの移動・宿泊

1. チームの都市間移動

(1) 公共交通機関

- ・ 公共交通機関の利用時にはラッシュ時間を選び、マスクを着用し、感染防止マナーを守る
- ・ 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする

(2) 電車・バス等を利用中か否かにかかわらず、移動時は常に他者と距離をとり、会話も控える

(3) バスによる長距離移動

イ) バス会社への事前依頼事項

- ・ 事前の車内消毒
- ・ 運転手の体調管理。マスク、手袋着用

ロ) バス車内での社会的距離

- ・ 欧州ではバス内の人数を減らすため、複数台での移動を義務付けています（1台 25 人まで等）。特にバス移動が長時間（2 時間以上等）にわたる場合、ご検討ください

ハ) その他の注意事項

- ・ バス内ではマスクを着用します
- ・ 窓を開けて、換気します。1 時間につき 3 回の換気が推奨されます
- ・ サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に資する行動をとってください

(4) 各自の乗用車を利用する際も、①乗車人数の制限（3 人以下）、②マスク着用、③換気（1 時間に 3 回くらい）、④会話も控える、特に経費が掛かるからといって、1 台の乗車人数が多くならないようにする。

2. チームの宿泊

(1) 宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫してください

イ) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討してください

ロ) 動線（教養の廊下やロビー等）で密になることがないように、入口や動線、エレベーター等の利用方法についてもホテル側と調整してください

ハ) 食事会場はチーム専用としてください

ニ) チームが使用する部屋は事前に消毒、換気します（宿泊施設への依頼）

ホ) 連泊する場合の客室の清掃

- ・ チームの不在時に清掃します。または、清掃しないことも選択肢となります。

(2) 手指消毒液の設置

チームが訪れる各所に手指消毒液を設置してください

- 食事会場
- マッサージルーム
- ミーティングルーム
- 廊下（フロア等を専有する場合）
- その他

(3) チームの行動規範例

イ) 自室以外ではマスクを着用する

ロ) エレベーターのスイッチは利き手じゃない手で触れるなど工夫をする

ハ) ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バー等に立ち入られないようにします

(4) 部屋割り

イ) 原則、1 人 1 部屋とし、部屋間の往来を禁止します

ロ) 部屋の換気をよくしてください。温度 21 度、湿度 50～60%が推奨されます

(5) 食事

イ) 選手の席は 1.5m～2.0mの距離をあけてください。向かい合わせの配席は不可です

- ・ 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらします
 - ロ) 食事は1人ずつ取り分けた状態で用意します
 - ・ 食事中、宿泊施設の方は部屋にいないようにします。片付けはチームが退出した後に行います
 - ハ) ビュッフェ形式は、個人専用トングを用い大皿に唾液が飛ぶような会話などないように留意する等の場合に限り、許容されます
- (6) ミーティング
- イ) 可能な限り、ビデオ会議をご検討ください。
 - ロ) 対面で実施する場合、部屋の換気に留意してください。監督、コーチ、選手が1.5m~2.0mの距離をとって着席してください

資料1

問診票

所属 _____ 来場目的 _____ 来場手段 _____
 氏名 _____ 性別 _____ 生年月日 _____ (例: 1990/01/01)
 居住地 _____ 電話番号 _____ (例: 000-0000-0000)

項目		13日前	12日前	11日前	10日前	9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前
体温	起床時											
	就寝時											
現在の調子 全身状態	1:良い 2:少し良い 3:普通 4:少し悪い 5:悪い											
	倦怠感 1:ある 2:なし											
消化器	食欲 1:低下 2:異常なし											
	味覚 1:異常あり 2:異常なし											
	嗅覚 1:異常あり 2:異常なし											
呼吸器	便 1:通常 2:軟便 3:下痢											
	喉の痛み 1:ある 2:なし											
	咳 1:ある 2:なし											
アレルギー	痰 1:ある 2:なし											
	呼吸苦 1:ある 2:なし											
	目の充血 1:ある 2:なし											

項目 _____ 2日前 _____ 当日 _____

体温	起床時		
	就寝時		
現在の調子 全身状態	1:良い 2:少し良い 3:普通 4:少し悪い 5:悪い		
	倦怠感 1:ある 2:なし		
消化器	食欲 1:低下 2:異常なし		
	味覚 1:異常あり 2:異常なし		
	嗅覚 1:異常あり 2:異常なし		
呼吸器	便 1:通常 2:軟便 3:下痢		
	喉の痛み 1:ある 2:なし		
	咳 1:ある 2:なし		
アレルギー	痰 1:ある 2:なし		
	呼吸苦 1:ある 2:なし		
	目の充血 1:ある 2:なし		

過去1ヶ月間の海外渡航有無 _____
 渡航理由(有りの場合) _____

家族・同居人に体調不良者はいますか? _____
 どんな症状ですか? (いる場合) _____

署名 _____

- 上記記載事項に間違いありません。
- 万が一、今後2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、ただちに連盟へご報告します。

□ 行動記録の例

- ご本人が陽性と判定されたとき、濃厚接触が疑われるときなど、1~2週間を遡っての行動記録が非常に重要です。濃厚接触の対象者を素早く、適切に判断できることで、チーム内での感染連鎖を防ぐことが出来ます。
- とくに記録して頂きたいこと
 - 人が密集している密閉空間にいたこと。または人と密接する密閉空間にいたこと
 - 人込みに出かけたこと
 - 密接な距離で一定時間、食事や会話を行ったこと
 - 感染流行地へ旅行、または滞在したこと
- 記入例
 - クラブ名：関東大学 FC
 - 氏名：蹴球 太郎
 - 記入日：4月1日（火）
 - 主な行動
 - 7:00 起床
 - 7:30 朝食。自宅で家族と
 - 車で移動（菅山と）
 - 9:30~12:00 自主トレ。梅里グラウンド。チームメート5人と（菅山、久保山、黒川、立谷、東雲）
 - 13:00 昼食。久保山、黒川と。店、がらがら
 - 車で帰宅（ひとり）
 - 電車で移動
 - 17:00 カフェ。赤影、釜崎と。ややコミ
 - 19:00~22:00 打ち上げ会。狭い満員の中華屋で、飲食。飲酒あり。都井、岬、成田、藤野、桧山、米子、勝峰など約20人
 - 電車で帰宅
 - 24:00 就寝

本文に戻る

□ 陽性判定時に保健所から尋ねられること

保健所は陽性者が出たときに、NIID 国立感染症研究所のHPにある『調査票（案）』に従って、調査票をつくることになっています。従って陽性になった方やクラブは、この調査票にある項目を、保健所から尋ねられます。行動記録を作成する際の参考にしてください。

調査票の種類	対象期間	主な調査内容
患者の行動調査票 （感染源） どこで感染したかを さぐるため	<ul style="list-style-type: none"> ● 発症の14日前~2日前 ● 1つずつの行動記憶。1日に複数箇所を訪問した際は、その分を記載する ● 感染リスクが高い場所の例 <ul style="list-style-type: none"> ✓換気が悪く密閉された環境での集会参加 <ul style="list-style-type: none"> ■ 船、長距離バス、スポーツジム、屋内音楽ライブ、クラブ、立食パーティー、カラオケボックス、屋内展示会等 ✓流行地への滞在歴（国内・国外） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 時刻と場所 <ul style="list-style-type: none"> ■ 何時にどこを訪れたか。その場所の電話番号と住所 ● 行動歴/接触歴（例） <ul style="list-style-type: none"> ■ 所属する営業2課の同僚とライブへ参加 ■ ○×観光バスで移動(TEL: 999-999-999) ■ △△駅前で風邪症状のある友人(○○氏)と接触 ● 状況（例） <ul style="list-style-type: none"> ■ 観客約300人、スタンディングで密集 ■ 家族（妻、子供2人）を含めバスには20人程度で、

		<p>乗客に体調不良者あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ マスクの着用なしで 30 分ほど立ち話をした <p>• 感染リスクの高い場所の同行者氏名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ○×部長、△□主任 ■ ○○太郎、□□花子、△△次郎
<p>患者の行動調査票 (接触者)</p> <p>濃厚接触者を特定するため</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 発症日の 1 日前から • 1 日ずつの行動記憶。1 日に複数箇所を訪問した際は、その分を記載する 	<ul style="list-style-type: none"> • 時刻と場所 <ul style="list-style-type: none"> ■ 何時にどこを訪れたか。その場所の電話番号と住所 • 同居者以外の者と接触状況 (例) <ul style="list-style-type: none"> ■ 職場に出勤し、所属する営業 2 課の同僚と接触 ■ 取引先に移動し、応対した社員や商談した社員等と接触 • 接触場所 (例) <ul style="list-style-type: none"> ■ ○○物産株式会社 TEL : 000-000-0000 ■ ○×貿易株式会社 TEL : 999-999-9999 • 接触者氏名 <ul style="list-style-type: none"> ■ ○○太郎、□□花子、△△次郎 ■ ○×部長、△□主任 • 接触者の連絡先 <ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての○○物産株式会社 ■ 全ての○×貿易株式会社
接触者リスト		
接触者健康観察表	<ul style="list-style-type: none"> • 最終接触日から 14 日間 	

関連資料

特徴など	資料名	発行元・発行日
国としての基本方針	『 <u>新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針</u> 』	新型コロナウイルス感染症対策本部、2020 年 5 月 25 日
政府専門家会議の分析・提言	『 <u>新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言</u> 』	新型コロナウイルス感染症対策専門家会議、2020 年 5 月 29 日
首相官邸によるまとめ頁	<ul style="list-style-type: none"> • <u>ご利用ください お役立ち情報</u> • <u>生活と雇用を守るための支援策</u> 	首相官邸、随時更新
自衛隊のコロナ対策	『 <u>新型コロナウイルスから皆さんの安全を守るために</u> 』	陸上自衛隊東部方面衛生隊、陸上幕僚監部、2020 年 4 月 13 日
日本の感染状況 (公式)、都道府県別	『 <u>地域ごとのまん延の状況に関する指標等の公表について</u> 』	厚生労働省、随時更新
Jリーグ 対応ガイドライン	『 <u>Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン</u> 』	Jリーグ、2020 年 7 月 16 日

資料3

2020年東北地区大学サッカーリーグ 体調チェックリスト (試合当日エントリー表と一緒に提出)

部・2部・3部 リーグ (○) 第 節 kick off時間

会場名

チーム名

メンバーリスト (スタッフ含めた参加者全員)

種	氏名	参加者 (○)	試合当日の体温 (°C)	問診票のチェック (無しはレ点)	特記事項
1	部長				
2	副部長				
3	総監督				
4	監督	○	36	レ	
5	コーチ				
6	コーチ				
7	コーチ				
8	コーチ				
9	トレーナー				
10	トレーナー				
11	女子マネ				
12	女子マネ				
13	選手				
14	選手				
15	選手				
16	選手				
17	選手				
18	選手				
19	選手				
20	選手				
21	選手				
22	選手				
23	選手				
24	選手				
25	選手				
26	選手				
27	選手				
28	選手				
29	選手				
30	選手				
31	選手				
32	選手				
33	選手				
34	選手				
35	選手				
36	選手				
37	選手				
38	選手				
39	選手				
40	選手				